



Powered by creativity



TDK. The electronic components company.

2012年3月期 第3四半期決算説明会

2012年1月31日
TDK株式会社

◆ 2012年3月期 第3四半期連結業績概要

執行役員/経理部長 桃塚 高和

◆ 記録デバイス事業について

常務執行役員 小林 敦夫

◆ 質疑応答

2012年3月期 第3四半期連結業績概要

TDK株式会社
執行役員/経理部長
桃塚 高和

2012年3月期 第3四半期（四半期）実績



(億円)	2011年3月期 第3四半期実績 (2010.10.1~2010.12.31)	2012年3月期 第3四半期実績 (2011.10.1~2011.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率
売上高	2,199	1,918	△ 282	-12.8%
営業利益	172	70	△ 102	-59.2%
営業利益率	7.8%	3.7%	△ 4.1pt	-
税引前利益	166	32	△ 133	-80.5%
当期純利益	126	△ 116	△ 242	-
1株当たり利益(円)	97.64	△ 90.24	-	-

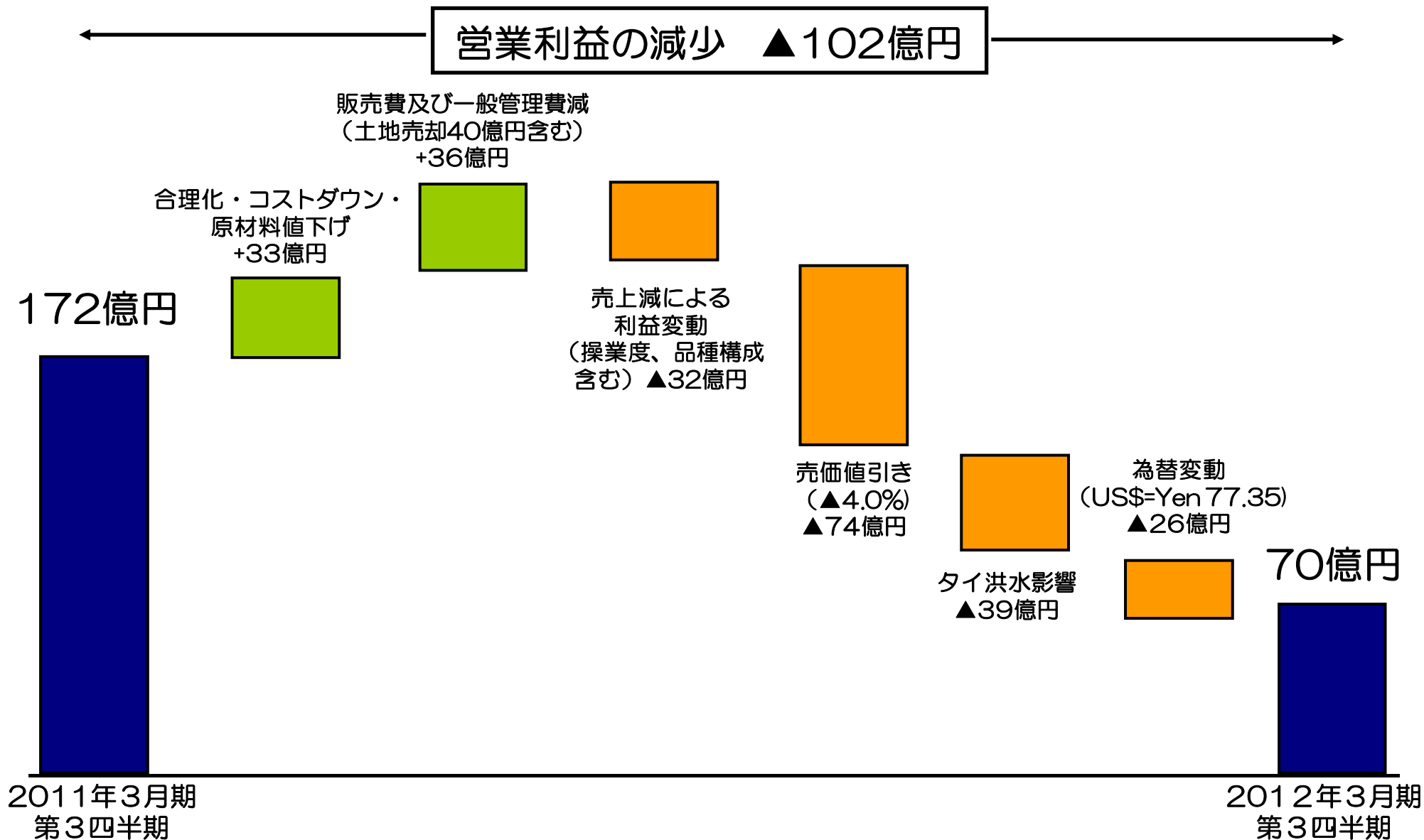
為替	対ドルレート	82円65銭	77円35銭	6.4%の円高
	対ユーロレート	112円20銭	104円30銭	7.0%の円高

為替変動による 影響金額	売上高：約106億円の減収 営業利益：約26億円の減益
-----------------	--------------------------------

タイの洪水による 影響金額	売上高：約113億円の減収 営業利益：約39億円の減益
------------------	--------------------------------

法人税減税及び復興税制の影響、並びに繰延税金資産の回収可能性の見直しにより
約120億円の法人税等を当第3四半期に計上しています

第3四半期（四半期）営業利益増減分析



セグメント情報



(億円)		2011年3月期 第3四半期 (2010.10.1~2010.12.31) (A)	2012年3月期 第2四半期 (2011.7.1~2011.9.30) (B)	2012年3月期 第3四半期 (2011.10.1~2011.12.31) (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
		増減	増減率	増減	増減率			
売上高	コンデンサ	352	342	306	△ 46	-13.1%	△ 36	-10.5%
	インダクティブデバイス	326	314	286	△ 40	-12.3%	△ 28	-8.9%
	その他受動部品	393	344	304	△ 89	-22.6%	△ 40	-11.6%
	受動部品合計	1,071	999	895	△ 176	-16.4%	△ 104	-10.4%
	記録デバイス	630	533	420	△ 210	-33.3%	△ 113	-21.2%
	その他磁気応用製品	277	312	298	21	7.6%	△ 14	-4.5%
	磁気応用製品合計	908	845	718	△ 190	-20.9%	△ 127	-15.0%
	その他	220	260	305	85	38.6%	45	17.3%
合計	2,199	2,104	1,918	△ 281	-12.8%	△ 186	-8.8%	
営業利益	受動部品	62	13	15	△ 47	-75.8%	2	15.4%
	磁気応用製品	115	88	64	△ 51	-44.3%	△ 24	-27.3%
	その他	20	17	25	5	25.0%	8	47.1%
	小計	197	118	104	△ 93	-47.2%	△ 14	-11.9%
	全社および消去	△ 25	△ 37	△ 34	△ 9		3	
	合計	172	81	70	△ 102	-59.3%	△ 11	-13.6%
	営業利益率	7.8%	3.9%	3.7%	△ 4.1pt		△ 0.2pt	
為替	対ドルレート	82円65銭	77円96銭	77円35銭				
	対ユーロレート	112円20銭	110円42銭	104円30銭				

2012年3月期 第3四半期累計実績



(億円)	2011年3月期 第3四半期累計実績 (2010.4.1~2010.12.31)	2012年3月期 第3四半期累計実績 (2011.4.1~2011.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率
売上高	6,622	6,089	△ 532	-8.0%
営業利益	544	208	△ 336	-61.7%
営業利益率	8.2%	3.4%	-4.8pt	-
税引前利益	512	139	△ 373	-72.8%
当期純利益	387	△ 49	△ 436	-
1株当たり利益(円)	300.10	△ 38.15	-	-
為替	対ドルレート	86円84銭	79円1銭	9.0%の円高
	対ユーロレート	113円27銭	110円76銭	2.2%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約438億円の減収 営業利益：約136億円の減益			

- 年金制度の変更に伴い、第1四半期の営業利益段階で約31億円の一時費用が発生しています。
- 第2四半期累計期間までにおいて、震災影響として売上高で約57億円の減収、営業利益で約36億円の減益となっております。
- 法人税減税及び復興税制の影響、並びに繰延税金資産の回収可能性の見直しにより約120億円の法人税等を当第3四半期に計上しています。

2012年3月期通期見通し



(単位：億円, %)

期 科目	2012年3月期 予想	2012年3月期 予想	2011年3月期 実績	2011年3月期対比 増減	
	2012年1月 発表	2011年10月 発表		金額	増減率
	金額	金額	金額	金額	増減率
売上高	8,000	8,200	8,757	△ 757	-8.6%
営業利益	100	350	638	△ 538	-84.3%
税引前当期純利益	30	300	601	△ 571	-95.0%
当社株主に帰属する当期純利益	△ 110	200	453	△ 563	-
固定資産の取得	800	800	786	14	1.8%
減価償却費	800	800	776	24	3.1%
研究開発費	520	520	530	△ 10	-1.9%

2012年3月期第4四半期以降の平均為替レート想定

対米ドル=76円（前回想定から変更無し） 対ユーロ=100円（前回想定：105円）

<修正の背景>

- ・エレクトロニクス市場における主要セット製品の販売見通し及び電子部品の需要が、想定より低調に推移
- ・当社の受注及び操業度も前回公表した見通しの前提を下回る水準が継続
- ・事業環境の変化に伴い、追加的な構造改革を実施し、従来想定以上の構造改革費用を見込む
- ・法人税減税及び復興税制の影響、並びに繰延税金資産の回収可能性の見直しにより約120億円の法人税等を当第3四半期に追加計上

(円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期
中間配当	40	40 (実績)
期末配当	40	40 (見通し)
年間配当	80	80 (見通し)

それぞれの施策は計画通り実施中

施策項目	進捗状況
拠点	東北地区19工場中、4工場の再編発表済み 3工場の再編発表（1月31日）
人員	連結従業員数の変化 2011年 9月末：88,449名 2011年12月末：82,912名 ▲5,537名減少
不採算事業 不採算製品	有機EL事業売却（2012年3月末日）
固定費	計画どおり実行中
遊休資産	第3四半期：海外遊休不動産売却済（売却益：約40億円） 第4四半期：国内遊休不動産売却予定（売却益見込み：約25億円）

従来予定を前倒し及び追加施策実施予定

	2011年10月31日発表	今回発表
構造改革費用 (予定)	2012年3月期（下期）： 30億円 2013年3月期（通期）： 50億円	2012年3月期（下期）： 123億円 2013年3月期（通期）： 50億円
効果金額 (予定)	2012年3月期（下期） （土地売却益） 60億円 70億円 合計： 130億円 2013年3月期（通期）（70億円） 180億円 合計：（250億円） 180億円	2012年3月期（下期） （土地売却益） 65億円 70億円 合計： 135億円 2013年3月期（通期） 180億円 （今回追加分） 40億円 合計： 220億円

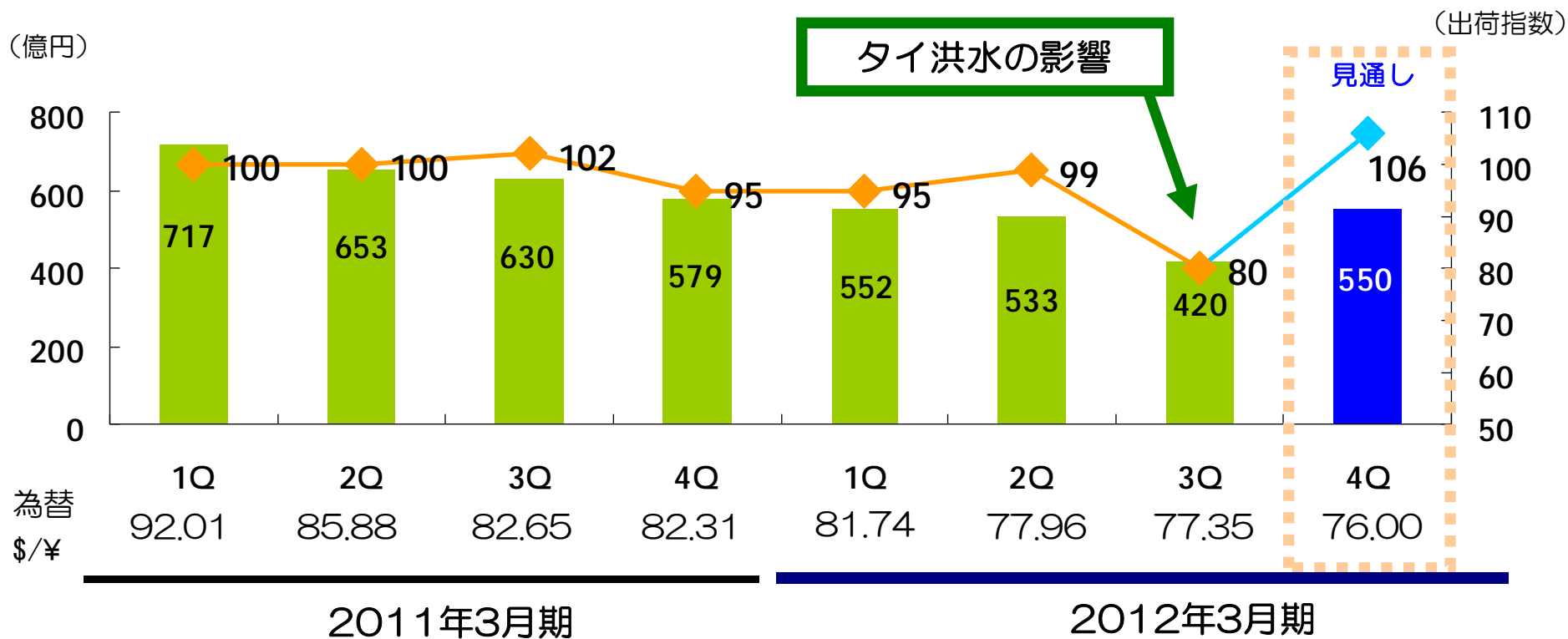
事業環境の変化に伴い、構造改革費用の増額を見込む

記録デバイス事業について

常務執行役員
小林 敦夫

3Qのヘッド数量はタイ洪水の影響で大幅に減少するも、4Qから急回復の見込み

- 記録デバイス売上高（左軸、HDD用ヘッド（HGA）及びHDD用サスペンションを含む）
- ◆ ヘッド数量出荷指数（右軸、2011年3月期第1四半期の出荷数量を100とした場合の指数）



● 2012年3月期HDD市場予測：約6億台

補足資料

タイで発生した洪水による被害状況について



会社名	所在地	生産品目	状況
TDK Thailand Co., Ltd	ロジャナ	金属磁石 記録メディア センサ	敷地内の排水および工場内外の清掃、消毒が完了し、場内の修復作業を開始 ＜今後の見通し＞ ・磁石:2012年4月に生産再開の予定 ・センサ:生産再開時期を現在調整中 ・その他:現在、調整中
TDK Thailand Co., Ltd	ワンノイ	金属磁石応用製品	生産設備の立ち上げが完了し、昨年12月16日より通常稼働を開始
Magnecomp Precision Technology Public Co.,Ltd (本工場)	ワンノイ	HDD用サスペンション	昨年11月7日より一部操業を再開し、現在は通常生産
Magnecomp Precision Technology Public Co.,Ltd (分工場)	ロジャナ	HDD用サスペンション	敷地内の排水および工場内外の清掃、場内の消毒が完了 ＜今後の見通し＞ ・工場2階の生産ラインを立ち上げ、2012年1月末より量産を開始 ・出荷開始は、2012年2月を予定

売上高及び営業利益の四半期推移

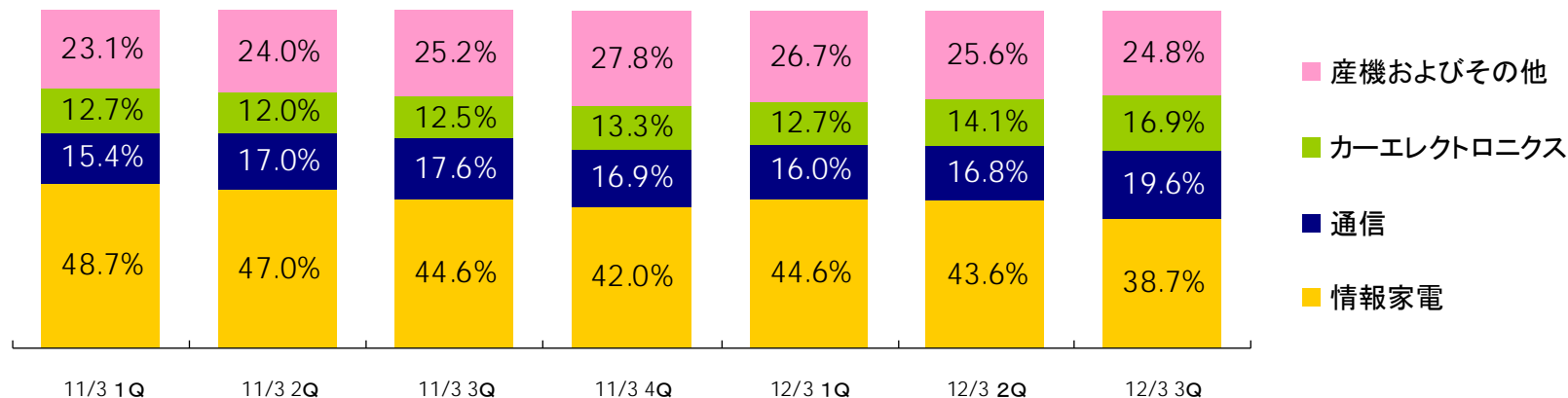


		2011年3月期					2012年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	(億円)										
	コンデンサ	380	377	352	345	1,454	361	342	306		
	インダクティブデバイス	321	336	326	319	1,302	329	314	286		
	その他受動部品	346	375	393	386	1,500	328	344	304		
	受動部品合計	1,047	1,087	1,071	1,050	4,256	1,017	999	895		
	記録デバイス	717	653	630	575	2,575	552	533	420		
	その他磁気応用製品	286	269	277	277	1,110	274	312	298		
	磁気応用製品	1,003	922	908	852	3,685	827	845	718		
	その他	170	193	220	234	817	224	260	305		
	合計	2,219	2,203	2,199	2,136	8,757	2,068	2,104	1,918		
営業利益	受動部品	63	73	62	48	245	38	13	15		
	磁気応用製品	161	125	115	68	469	76	88	64		
	その他	10	17	20	10	57	15	17	25		
	小計	233	215	197	126	771	128	118	104		
	全社および消去	△ 31	△ 45	△ 26	△ 32	△ 133	△ 72	△ 37	△ 34		
合計	202	170	172	94	638	56	81	71			
為替	対ドルレート	92.01	85.88	82.65	82.31	85.73	81.74	77.96	77.35		
	対ユーロレート	117.03	110.67	112.20	112.66	113.12	117.62	110.42	104.30		

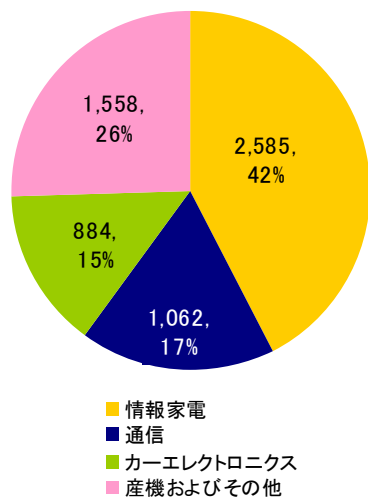
2012年3月期 第3四半期累計分野別売上高



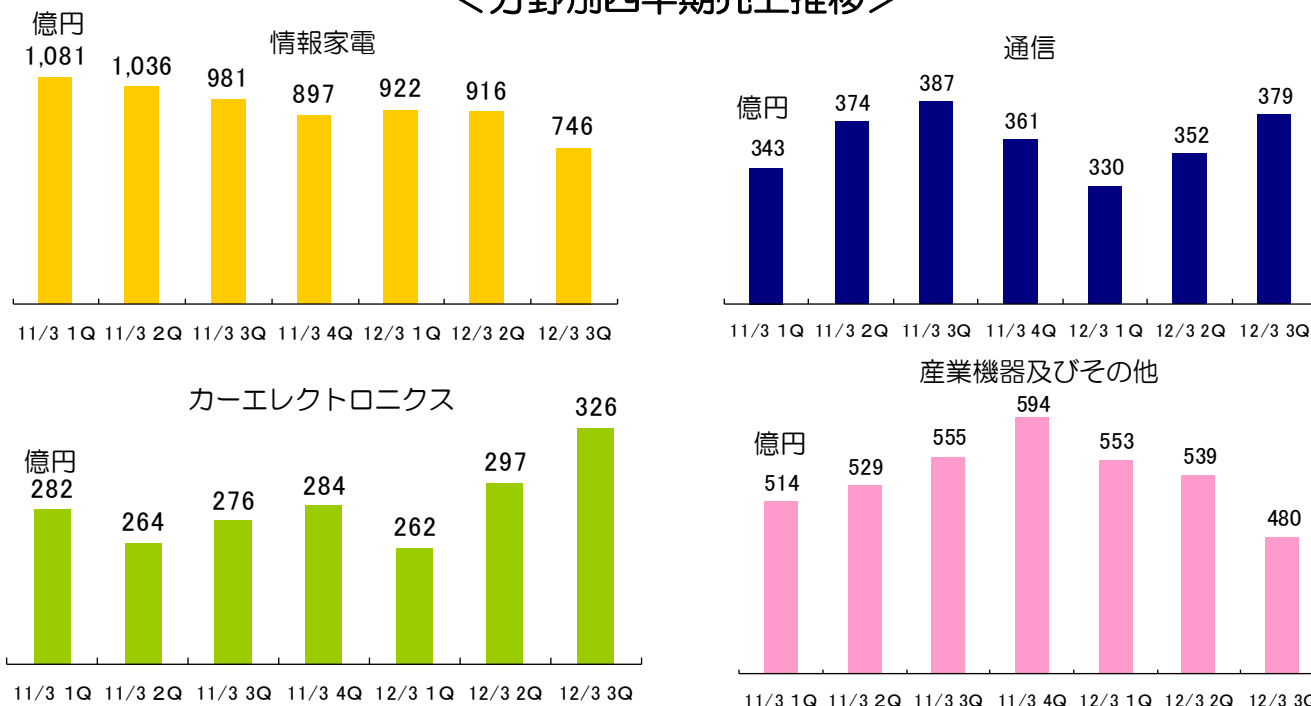
＜分野別四半期売上比率推移＞



2012年3月期
第3四半期累計分野別内訳



＜分野別四半期売上推移＞



(億円)	2011年3月末	2011年9月末	2011年12月末	対9月末増減
総資産	10,609	10,498	10,459	△ 39
負債合計	5,211	5,375	5,443	68
うち有利子負債	2,450	2,680	2,819	139
株主資本	5,343	4,992	4,881	△ 111
(うち包括利益)	△ 2,180	△ 2,582	△ 2,521	62
株主資本比率	50.4%	47.6%	46.7%	△ 0.9pt

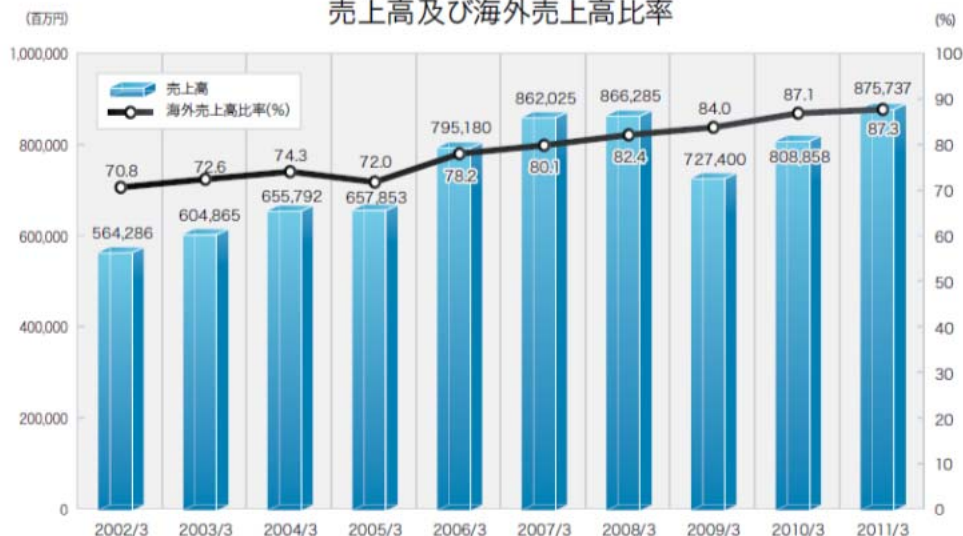
<第3四半期累計>

(億円)	2011年3月期 第3四半期累計実績 (2010.4.1~2010.12.31)	2012年3月期 第3四半期累計実績 (2011.4.1~2011.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率
固定資産の取得	541	763	223	41.2%
減価償却費	575	562	△ 13	-2.3%
研究開発費	389	394	5	1.2%

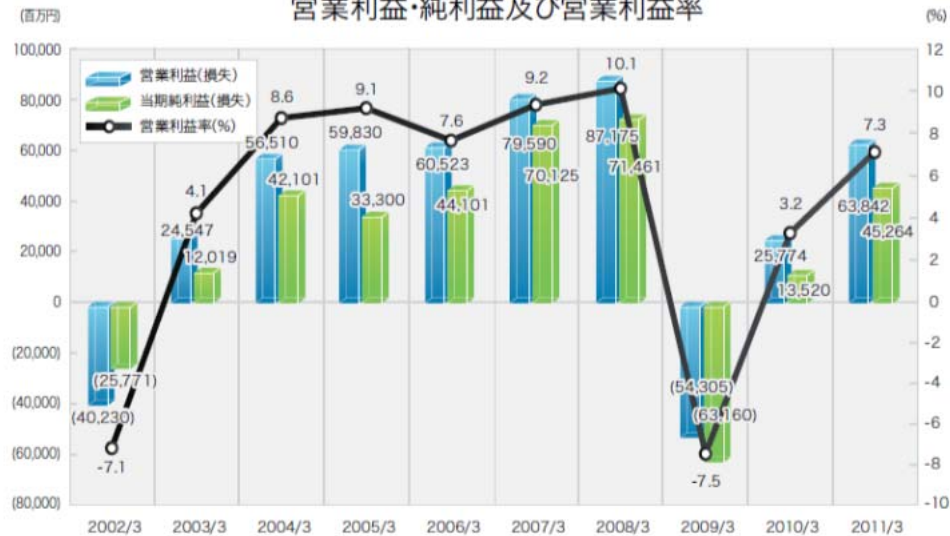
<第3四半期>

(億円)	2011年3月期 第3四半期実績 (2010.10.1~2010.12.31)	2012年3月期 第3四半期実績 (2011.10.1~2011.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率
固定資産の取得	203	228	25	12.5%
減価償却費	197	188	△ 9	-4.6%
研究開発費	125	129	4	3.4%

売上高及び海外売上高比率



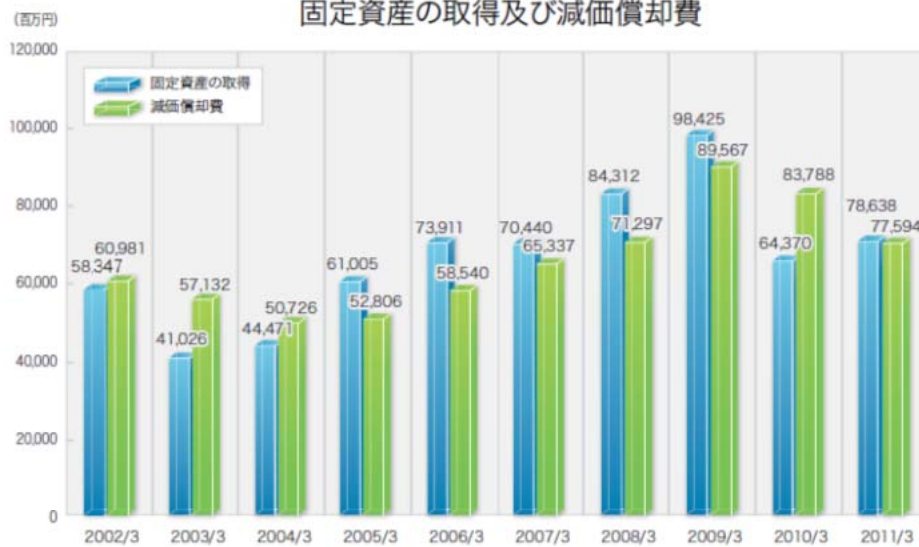
営業利益・純利益及び営業利益率



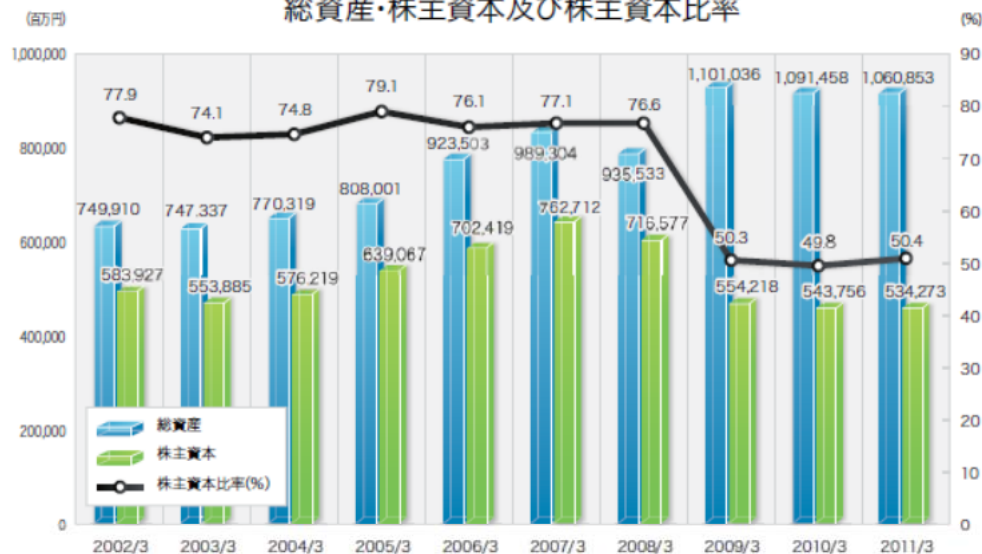
研究開発費及び売上高比率



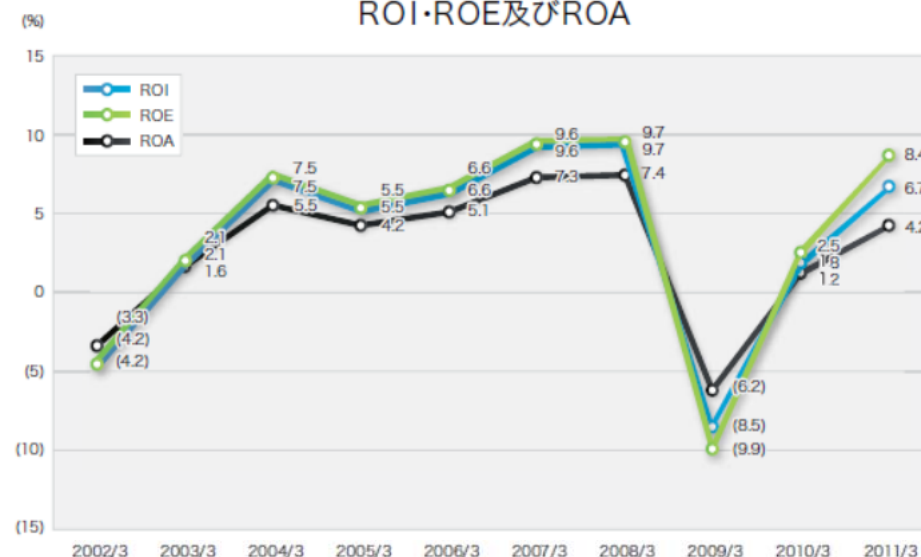
固定資産の取得及び減価償却費



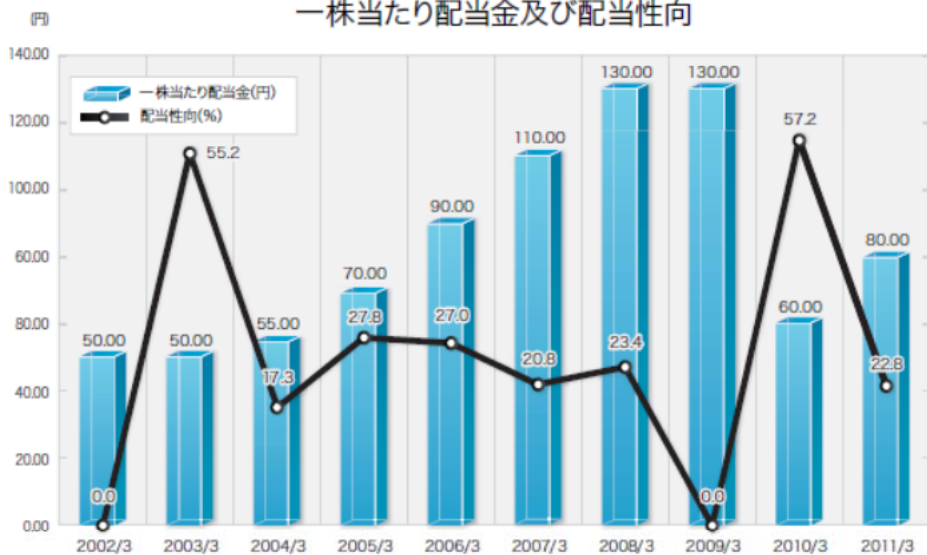
総資産・株主資本及び株主資本比率



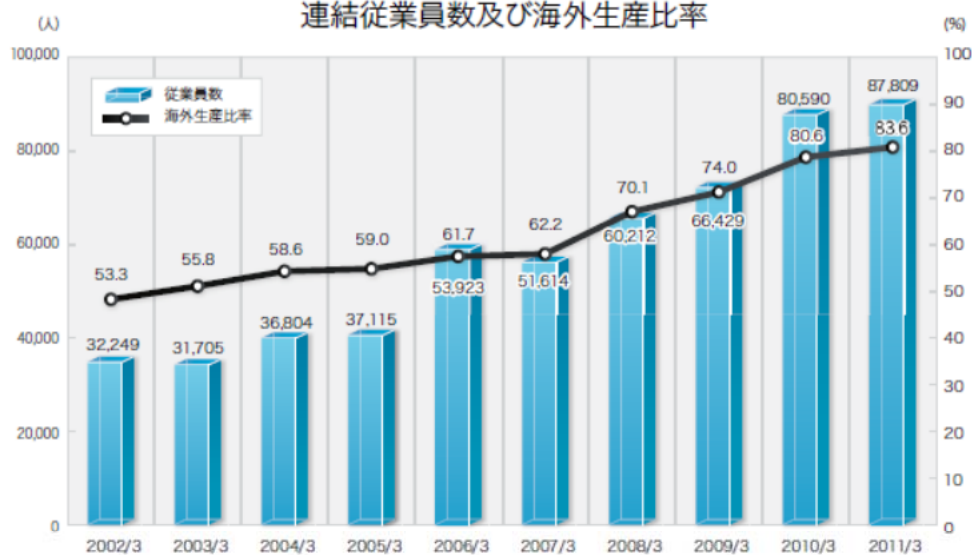
ROI・ROE及びROA



一株当たり配当金及び配当性向



連結従業員数及び海外生産比率



この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

